

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月8日

上場会社名 株式会社タカミヤ 上場取引所 東
 コード番号 2445 URL <https://www.takamiya.co/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高宮 一雅
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 辰見 知哉 TEL 06-6375-3918
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,161	4.5	549	115.2	454	43.5	362	96.8
2019年3月期第1四半期	9,725	11.0	255	△1.7	316	17.7	184	△9.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 385百万円 (ー%) 2019年3月期第1四半期 △33百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	8.45	8.20
2019年3月期第1四半期	4.30	4.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	54,085	14,667	26.4	332.12
2019年3月期	54,414	14,575	26.0	330.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,254百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	4.00	ー	7.00	11.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期 (予想)		6.00	ー	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年3月期第2四半期末の中間配当金 (予想) の内訳は、普通配当4円、設立50周年記念配当2円であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	21,200	2.2	1,180	8.5	1,060	△5.4	710	1.6	16.56
通期	44,700	6.0	3,200	17.9	2,920	9.7	1,940	18.5	45.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	45,527,600株	2019年3月期	45,467,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,607,020株	2019年3月期	2,606,971株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	42,873,801株	2019年3月期1Q	42,840,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱の動向などが懸念されており先行き不透明な状況が続いております。国内におきましては、企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、世界経済の不透明な状況を受けて、予断を許せない状況でありました。

当社グループに関連する建設業界は、国内では、東京オリンピック・パラリンピック開催直前の関連工事や首都圏を中心とした大規模再開発工事などの大型プロジェクトが佳境を迎えております。更に、社会インフラの再整備などの公共工事も進みつつあり、受注環境は、総じて良好に推移しております。一方で、建設労働者の不足と建設現場における安全基準の高まりは、依然として業界の課題となっております。

海外におきましては、当社グループが事業拠点を置くASEAN地域では、フィリピンにおける公共インフラ・都市開発などの旺盛な建設投資、ベトナムにおける外資誘致の推進等を背景に、仮設機材の需要が高まってまいりました。

このような環境の中で当社グループは、「トランスフォームにより新たな価値を創造し、業界の質的発展を牽引する企業グループを目指す」を中期経営ビジョンに掲げ、経営基盤の強化、収益基盤の革新、海外展開の加速、新たな成長事業の創出、この4項目を課題として取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,161,523千円(前年同期比4.5%増)、営業利益549,836千円(前年同期比115.2%増)、経常利益454,841千円(前年同期比43.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益362,170千円(前年同期比96.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①販売事業

建設現場における安全基準の高まりに伴う、次世代足場への本格的な移行を背景に、ソリューション営業を積極的に展開してまいりました。これが功を奏し、特に「Iqシステム」については新規顧客だけでなく、既存顧客に対する追加販売も加わり、堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高3,136,841千円(前年同期比9.0%増)、営業利益309,889千円(前年同期比9.3%減)となりました。

②レンタル事業

民間建築工事においては、旺盛な需要がある中で、「Iqシステム」を中心に、施工性、安全性の高い仮設機材の提供に加えて、足場施工を併せたサービスを提案してまいりました。土木・橋梁工事分野においても、順調に出荷が進んでまいりました。当第1四半期連結累計期間における民間建築工事、土木・橋梁工事を合わせた仮設機材全体の貸出数量は、期初より高い水準で推移しております。利益面では、レンタル用仮設機材への投資を抑制しつつ、効率的運用に取り組んだ結果、セグメント利益が大きく増加いたしました。

これらの結果、売上高6,034,615千円(前年同期比14.3%増)、営業利益643,710千円(前年同期比142.1%増)となりました。

③海外事業

旺盛な建設需要を背景に、仮設機材の販売及びレンタルは、堅調に推移しております。韓国での太陽光案件の受注については、前期のような大型案件はなかったものの、小規模案件を複数受注しており、堅調に推移しております。利益面におきましても、積極的な事業展開に伴って、仮設機材の減価償却費や、地代、人件費他、様々な販売管理費が増加しておりますが、売上総利益率の改善により、セグメント利益が回復してまいりました。

これらの結果、売上高1,560,918千円(前年同期比21.6%減)、営業利益11,595千円(前年同四半期は営業損失30,374千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、54,085,308千円となり、前連結会計年度末と比べ328,950千円減少いたしました。この主な要因は、商品及び製品の増加441,939千円、貸貸資産の減少674,682千円、建物及び構築物の増加297,484千円、土地の減少401,241千円等によるものであります。

負債合計は、39,418,033千円となり、前連結会計年度末と比べ420,530千円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少510,636千円等によるものであります。

純資産合計は、14,667,275千円となり、前連結会計年度末と比べ91,579千円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加62,145千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、概ね予想通りに推移いたしました。従いまして、現時点において、2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,184	5,632,707
受取手形及び売掛金	11,401,400	11,455,832
商品及び製品	3,170,300	3,612,239
仕掛品	965,979	903,098
原材料及び貯蔵品	1,001,093	989,509
その他	782,944	940,662
貸倒引当金	△274,311	△262,125
流動資産合計	22,781,590	23,271,925
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△22,974,395	△23,507,897
貸貸資産(純額)	16,426,564	15,751,881
建物及び構築物		
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,361,117	△3,339,784
建物及び構築物(純額)	3,175,131	3,472,616
機械装置及び運搬具		
減価償却累計額	△1,137,582	△1,169,779
機械装置及び運搬具(純額)	1,188,764	1,156,072
土地	5,763,542	5,362,300
リース資産		
減価償却累計額	△444,153	△417,750
リース資産(純額)	459,760	426,241
建設仮勘定	305,038	253,355
その他	1,062,032	1,047,813
減価償却累計額	△752,478	△752,204
その他(純額)	309,554	295,609
有形固定資産合計	27,628,356	26,718,077
無形固定資産		
借地権	327,821	327,821
のれん	212,741	199,337
リース資産	11,363	11,564
その他	267,913	333,739
無形固定資産合計	819,840	872,462
投資その他の資産		
投資有価証券	454,484	439,373
差入保証金	577,834	619,131
会員権	39,356	39,356
退職給付に係る資産	73,543	74,310
繰延税金資産	899,404	903,501
その他	1,183,917	1,189,090
貸倒引当金	△44,069	△41,919
投資その他の資産合計	3,184,471	3,222,843
固定資産合計	31,632,668	30,813,383
資産合計	54,414,258	54,085,308

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,711,262	5,775,975
短期借入金	4,621,120	4,888,160
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	5,858,184	5,825,229
リース債務	247,716	276,542
未払法人税等	763,642	270,500
賞与引当金	223,416	93,973
役員賞与引当金	19,060	—
設備関係支払手形	234,485	89,227
その他	2,464,066	2,903,601
流動負債合計	20,302,955	20,283,209
固定負債		
社債	2,710,000	2,710,000
長期借入金	13,495,882	13,018,200
リース債務	967,697	1,159,336
退職給付に係る負債	900,280	888,282
資産除去債務	15,882	15,979
その他	1,445,865	1,343,024
固定負債合計	19,535,608	19,134,823
負債合計	39,838,563	39,418,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,130	735,227
資本剰余金	1,226,217	1,229,315
利益剰余金	13,395,332	13,457,478
自己株式	△1,233,173	△1,233,209
株主資本合計	14,120,506	14,188,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,507	37,516
繰延ヘッジ損益	△30,715	△29,653
為替換算調整勘定	55,101	80,746
退職給付に係る調整累計額	△22,747	△22,536
その他の包括利益累計額合計	50,145	66,072
新株予約権	296,346	296,331
非支配株主持分	108,696	116,059
純資産合計	14,575,695	14,667,275
負債純資産合計	54,414,258	54,085,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,725,219	10,161,523
売上原価	7,217,008	7,166,078
売上総利益	2,508,210	2,995,445
販売費及び一般管理費	2,252,726	2,445,609
営業利益	255,483	549,836
営業外収益		
受取利息	2,256	2,872
受取配当金	16,160	4,232
受取賃貸料	12,741	18,622
賃貸資産受入益	11,851	—
スクラップ売却収入	31,194	18,312
為替差益	54,989	—
貸倒引当金戻入額	—	6,057
その他	23,051	18,449
営業外収益合計	152,244	68,547
営業外費用		
支払利息	58,515	68,966
支払手数料	16,618	15,548
社債発行費	4,674	—
デリバティブ評価損	1,357	1,939
為替差損	—	64,484
その他	9,612	12,603
営業外費用合計	90,778	163,542
経常利益	316,950	454,841
特別利益		
固定資産売却益	—	125,404
特別利益合計	—	125,404
特別損失		
固定資産除却損	165	1,286
特別損失合計	165	1,286
税金等調整前四半期純利益	316,784	578,959
法人税、住民税及び事業税	116,888	211,902
法人税等調整額	13,297	△2,497
法人税等合計	130,185	209,404
四半期純利益	186,598	369,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,554	7,385
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,044	362,170

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	186,598	369,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△644	△11,013
繰延ヘッジ損益	4,490	1,062
為替換算調整勘定	△224,655	25,644
退職給付に係る調整額	700	211
その他の包括利益合計	△220,108	15,905
四半期包括利益	△33,509	385,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,081	378,097
非支配株主に係る四半期包括利益	2,572	7,362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,853,034	5,253,214	1,618,970	9,725,219	—	9,725,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,322	26,093	372,486	422,903	△422,903	—
計	2,877,357	5,279,308	1,991,457	10,148,122	△422,903	9,725,219
セグメント利益 又は損失(△)	341,562	265,904	△30,374	577,091	△321,607	255,483

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△321,607千円には、セグメント間取引消去88,859千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△410,467千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,117,345	6,021,970	1,022,207	10,161,523	—	10,161,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,496	12,644	538,711	570,852	△570,852	—
計	3,136,841	6,034,615	1,560,918	10,732,376	△570,852	10,161,523
セグメント利益	309,889	643,710	11,595	965,196	△415,359	549,836

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△415,359千円には、セグメント間取引消去81,514千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△496,874千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。